

2018年02月26日

課題名：心臓血管外科手術における左室後負荷評価に関する研究

◆研究の目的と概要◆

当院では、人工心肺を用いて行う心臓血管手術（人工血管・ステント留置術、大動脈弁形成術・置換術、僧帽弁形成術・置換術）の術中における、体血管抵抗（動脈の硬さ・弾力）の変化を調査することで、手術中においてより良い管理を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2014年1月から2018年3月までの間に、当院で大動脈人工血管置換術・ステント留置術、大動脈弁形成術・置換術、僧帽弁形成術・置換術を受けた方。

◆研究に使用される情報◆

術中の循環データ（観血的動脈圧、平均動脈圧、脈圧、心拍数、心拍出量、平均右房圧など）、術前の患者状態（身長体重、既往歴、エコーによる心機能評価結果、血管コンプライアンス測定結果、大動脈石灰化重症度、人工透析の有無など）、施行術式（使用した人工血管・ステントの種類とサイズ・留置長、人工弁の種類とサイズ、僧帽弁手術の術式、使用デバイス等）と麻酔管理内容（手術時間、人工心肺時間、人工心肺灌流量、術中体温、心血管作動薬使用量、術中経食道心エコー評価結果、使用モニター機器の種類など）

◆研究方法◆

本研究は、当院で行われた人工心肺を用いる心臓血管外科手術における、術中の血管の硬さ（血管コンプライアンス）の変化について、術中の血圧、心拍出量等の情報を用いて調査します。人工心肺を用いることや、人工血管・ステント留置などの術式、術前の心臓の機能などが血管コンプライアンスに与える影響を調査します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

麻酔科 研究責任者 豊田 浩作

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp(臨床研究センター)(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明